

The World Scholar's Cup Tokyo Round 2024



1. 活動時期

2024.4/28～29

高校1年 吉田 莉子 岡田 結嗣

脇田 輝基

2. 大会の概要

The world scholar's Cup(略称WSC)は、中高生の総合的な教養を競う大会です。2006年に韓国で始まり、以降世界各国で国内大会が開かれるようになりました。毎年60以上の国で国内大会が開かれ、世界中で2万人以上の学生が参加しています。

大会は3名1チームの団体戦です。競技内容は、予め膨大な資料を与えられ、大会までに各自リサーチを行い、それに基づいたチームディベート・エッセイライティング・テーマ演習問題など、全て英語で行われます。出題分野は、文学・芸術・科学など総合的に出題されます。

3. 大会結果

- ・チームディベート部門1位(全100チーム中)
- ・チーム総合12位(全100チーム中)

～準備したこと～

- ・大会の3カ月程前から週1回Zoom上でディベートを練習し、大会直前は他校との試合など実践練習。
- ・教科については、膨大な課題を3人で分担し、それぞれ勉強をした内容を共有。



4. 感想

- ・吉田: 練習を重ねるにつれチーム内の結束も強まり、とても信頼できる仲間になれたことは戦う中での大きな強みとなりました。次のラウンドに向けて、足りない点をしっかり補い世界大会での上位を目指し挑戦します。
- ・岡田: WSCで一番嬉しかったのは、ディベートで優勝したことです。私はディベートを今まで一度もやったことがありませんでしたが、脇田君のお陰でディベートの勉強を積極的にしてくれた事で良い結果になったと思いました。
- ・脇田: ディベートは良かったものの、教科の勉強では不甲斐ない結果になってしまい、明らかな勉強不足でした。世界大会ではもっと頑張りたいです。

5. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

・岡田

私は先生に勧められてWSCに参加しました。最初はあまり乗り気ではなく、ちゃんとできるのかなと不安でしたが、信頼できるチームメイトがいたので自信を持ました。課外活動を恐れずに一歩踏み出してチャレンジしてみてください。

